

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	塚本真紀	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士(学術)	職位	准教授
専門分野	心理学		
I 教育活動			
学部	心理学入門 現代社会と人間行動 発達と学習 カウンセリングの理論と方法 教職実践演習 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ		
大学院	心理学特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
(1) <論文>「予定の立案と実行に関する検討：認知的熟慮性－衝動性の影響」『尾道大学芸術文化学部紀要』、第6号、2007年、57～62ページ			
(2) <論文>「具体例の生成が文章理解による学習の転移に及ぼす影響」『尾道大学芸術文化学部紀要』、第4号、2005年、30～36ページ			
(3) <論文>「行為のプランニングとその実行過程に関する検討」『尾道大学芸術文化学部紀要』、第3号、2004年、57～62ページ			
(4) <共著>「心の科学」、2003年、北大路書房、全207ページ			
(5) <論文>「自発的疲労回復行動に関する基礎的検討」『尾道大学芸術文化学部紀要』、創刊号、2002年、44～50ページ			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
(1) <その他> 「きつねとたぬきの潜在的印象」 『尾道文学談話会会報』、第5号、2015年			
(2) <報告書> 「不安が比喩理解過程および比喩生成過程に及ぼす影響」 『科学研究費研究実績報告書』、2014年			
(3) <論文> 「文作成時の文脈パターンの個人差に関する検討－身体感覚表現と言語的不安反応との関係に着目して－」 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第13号、2014年			
(4) <学会発表> 「身体感覚の関係性認知が身体感覚表現を含む文章の読解過程に及ぼす影響」 中四国心理学会第69回大会(於山口大学)			
(5) <学会発表> 「不安が身体感覚表現の文脈生成に及ぼす影響」 日本心理学会第77回大会(於札幌コンベンションセンター)			
(6) <論文> 「不安状況下における言語行動に関する検討」 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第12号、2013年			
(7) <論文> 「不安状況下における言語行動に関する検討」 中四国心理学会第68回大会(於福山大学)			
(8) <論文> 「多義語を用いた比喩表現の認知過程に関する検討」 『尾道大学芸術文化学部紀要』、第11号、2012年			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) 不安が比喩理解過程に及ぼす影響			
(2) 比喩理解・生成過程の個人差に関する研究			
(3) 話し合いに関するメタ認知的活動に関する研究			
研究テーマの進捗状況	(1)(2)に関しては、基礎的データの分析をもとに研究知見を蓄積し、応用・実践研究に向けての理論構築を行い、論文制作中である。(3)に関してはフィールドデータの探索的解析をもとに仮説モデル構築中である。		
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
日本心理学会 日本認知心理学会 日本行動療法学会 中国四国心理学会			